

しみず有機のデントコーンに対する施用試験

1 目的 デントコーンに対する「しみず有機」の施用効果について検討する。

2 設置場所 清水町美蔓 現地

3 耕種概要

土壌	品種	前作	堆肥	播種日
火山性土	95日	チモン	秋 2t/10a 秋	ライムケーキ散布

4 試験方法

(1) 試験規模 100a 反復なし

(2) 試験設計

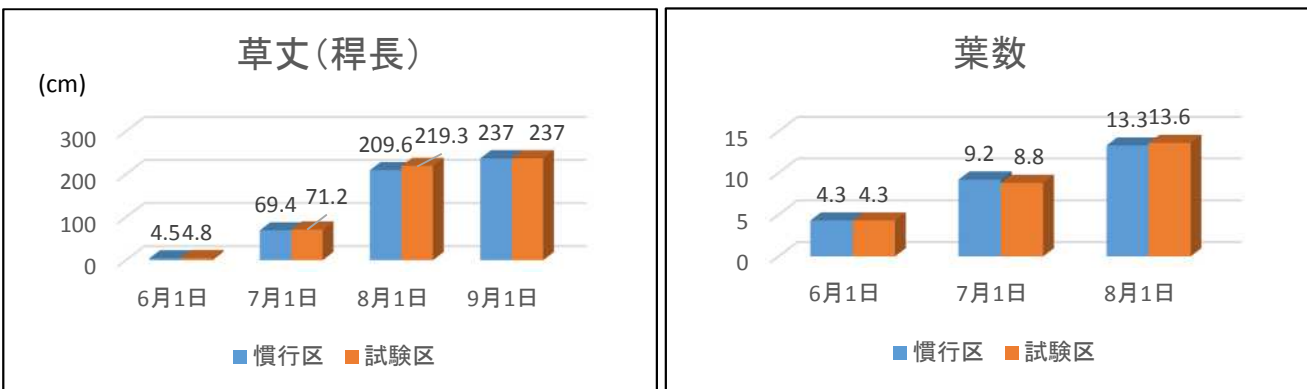
処理区分	肥料名	施用量	窒素	リン酸	カリ	石灰	苦土
慣行区	BBS006	80	8.0	16.0	4.8		4.8
	しみず有機	100	0.6	4.0	2.4	10.4	1.4
試験区	BBS006	80	8.0	16.0	4.8		4.8
	合計		8.6	20.0	7.2	10.4	6.2

注1)しみず有機の肥効率は、窒素 35%、リン酸及びカリを100%とした。

注2)しみず有機は前年秋耕起後にプロキヤスで全層散布した。

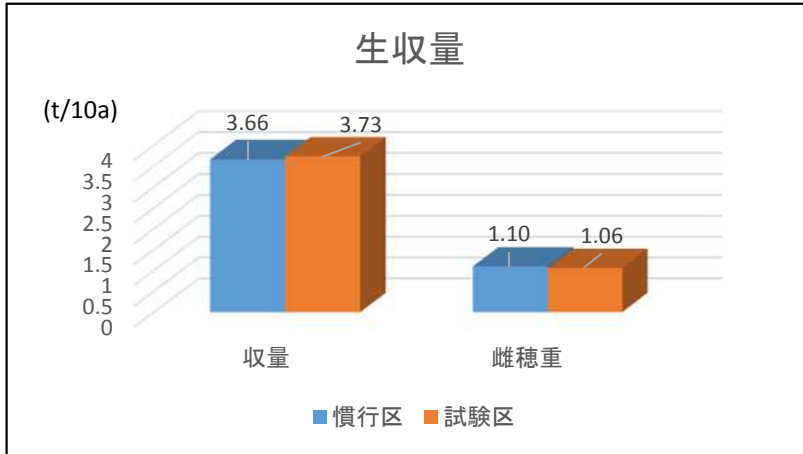
5 試験結果

(1) 生育調査結果



左:しみず有機+100kg区 右:慣行区

(2) 収量結果



9/21 試験区



左:しみず有機+100kg区 右:慣行区

6 考察

初期生育は試験区の方が若干良好であった。

最終的には生育、収量共に慣行区と試験区で差は認められなかった。

もし、トウモロコシでしみず有機を施用するとしたら、しみず有機のリン酸分を減肥して、窒素成分が高くてリン酸成分の低い安価な肥料を選択し、コストを合わせて利用した方が良い。栄養成分については未調査だが、牧草同様に差があるかもしれない。